

ピースボート災害ボランティアセンター 東日本大震災関連

2012年4月19日

## 石巻・鹿立浜の若い漁師たちが奮起！ 浜の未来と一緒に考えるボランティアとの出会いがきっかけ —4/21,22 ピースボートで二度目のプログラム実施—

東日本大震災、そして9月の台風15号により甚大な被害を受けた石巻市牡鹿半島の漁業。ピースボートでは、昨年だけでのべ1万人を越えるボランティア(企業、外国人ボランティア含む)が漁業支援として、流された漁具の回収や養殖再開へのお手伝いを行ってきました。

緊急支援の時期が過ぎ、今年から通常の漁業支援に加えて新しく取り組み始めたのが、「石巻体験ボランティアプログラム『おらほの浜体験』」。隔週で別の浜を訪れ、ボランティア活動以外にも、より地元の漁師さんらとの食事や交流の時間を大事にすることで、長い復興に向けての長期的な関わりを探るものです。このプログラムは、将来の担い手不足や新しい取り組みを紹介する情報発信力の弱さなど、外部とのコミュニケーションによって地元の漁師が自分たちが震災前から抱えていた課題を発見することにもつながっています。

今週末4月21,22日には、2月以来二度目となる牡鹿半島の鹿立浜でのプログラムが行われますが、その受け入れの主体となるのは、前回の訪問を機に立ち上がった「海と共につながる会」。若手の漁師を中心に、おらほの(私たち・自分たち)の浜を元気付けようと、オリジナル・ステッカーを作ったり、ホームページを立ち上げたりと積極的に新しい取り組みを始められています。今回の訪問では、仙台にオープンする牡蠣小屋のお手伝いや、今後の「海と共につながる会」の活動について一緒に議論する場を設ける予定です。また、東京からの参加者の中には、過去に会社からの派遣で企業ボランティアの一員として参加したメンバーや外国人ボランティアの親子(アイルランド出身)もあり、ユニークな意見交換が期待されます。

### ■ 第5回石巻体験ボランティアプログラム「おらほの浜体験」の概要

[ 日時 ] 2012年4月21日(土)、22日(日)

※東京(高田馬場)からのバス出発は4/20(金)22時頃

[ 場所 ] 石巻市牡鹿半島 福貴浦・鹿立浜(すだちはま)

[ 受け入れ ] 「海と共につながる会」 <http://blog.canpan.info/oysters/>

[ 内容 ] メカブの耳そぎや出荷作業のお手伝い、牡蠣・ワカメの養殖場見学、  
漁師と一緒に勉強会・ワークショップ、仙台港の牡蠣小屋のお手伝い、食事会 など

[ 参加者 ] 東京からの参加者は30、40代を中心に20名(企業、外国人ボランティアの親子含む)

※参加者には、具体的に「海と共に生きる会」を支える一口5,000円の支援金もお願いしています。

ピースボートでは、現在も日々平均40名のボランティアが復旧・復興支援を行っていますが、被災地の自立を考えた時、その活動は単に手を差し伸べるものから、「一緒に考え、一緒に立ち上がる」ものへと変化していると感じます。そのスピードや方法は、地域によって違います。その一つひとつに丁寧寄り添いながら、積極的に新しい提案を続けていくつもりです。そして、立ち上がった石巻の漁師らの取り組みも含め、広く発信していくことで、より多くの方が自分と東北との長い関わりを探るきっかけになればと思います。ぜひ取材・報道による後方支援のほど、よろしくお願ひいたします。

● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター (東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1)

TEL: 03-3363-7967 MAIL: kyuen@pbv.or.jp